

図書館だより 6月号

平成25年 6月14日(金)
梶原学園図書室 片岡発行

夏越しの祓(なごしのはらえ) 6月30日は、一年の半分が終わるもう一つの大晦日。残りの半年も無事に過ごせるよう、厄払いを行う風習があります。「茅の輪くぐり(ちのわくぐり)」で身を清め、「水無月(ういろうに小豆をのせた和菓子)」を氷にみたくて食し、暑気払い。一年の後半、いいことがありますように！

今月は、 **6月** というキーワードで本を探してみました。



6/14 ～日本がW杯サッカーに初出場～

◎日本サッカーのワールドカップ出場への挑戦が昭和29年から始まり、平成10年の今日、待ちにまった念願のW杯初出場をはたしました。



☆『NHKスポーツ大陸』金の星社

限界に挑戦するアスリート達の目の前に立ちはだかるさまざまな壁を、彼らはどう乗り越えてきたのか。

選手達の知られざる姿を追い求めていくと、言葉では尽くしがたい物語が浮かびあがる。

6/19 ～小説家 太宰治 誕生～

◎明治42年のこの日、青森県の大地主の家に生まれました。東京大学を中退した太宰治は、本格的に作家活動を始め、多くの名作を生みだしました。



☆『走れメロス』集英社文庫

親友との約束を果たすためにメロスは走る…。信頼と友情を描いた代表作のほか、生きることの意味を考えつづけた著者の名作短編集。太宰入門にふさわしい1冊です。

6/23 ～沖縄慰霊の日～

◎アジア太平洋戦争の末期、昭和20年の今日、沖縄に上陸していたアメリカ軍の総攻撃をうけて、沖縄守備隊が全滅しました。沖縄ではこの日に慰霊祭を行い、「戦争と平和を考える一日」として決めました。



☆『なぜ世界には戦争があるんだろう。どうして人はあんなに戦争をするの？』岩崎書店

わたしたちは戦争が好きではない。それは誰もが賛成だろう。爆弾におびえて生きることなど、まっぴらだ。なのに…どうして戦争は、なくなるんだろう。

《学校図書館用語集》

☆読み聞かせ☆

読み聞かせとは、主に乳幼児から小学校の子供に対して絵本などを見ながら音読する行為である。

◎読み聞かせする時のポイント

- 大げさに読まず、一語一語はっきりと読む。

◎本の選択

- 聞き手の興味に合わせて選択する。
- 図書支援員(片岡)にいつでも相談してね。



図書委員による
読み聞かせも大好評
です！
中学生もぜひ来てね！

毎週水曜日 12:35～
メディアセンター